



たてわりイベントパート2

今日26日(水)は、たてわり集会がありました。今回は、全校かくれんぼに続き、2回目の全校でのたてわり集会となります。以前、「もっとわくわく通信168号」で紹介した、全校代表委員会で決まったことを実践しました。

まず、たてわり班ごとに教室に集まって、zoomではじめの言葉、イベントの説明が行われました。そして、各遊びの場所の運動場や体育館に分かれて移動しました。遊びの内容は、「二人三脚」「フラフープおくり」「『の』の字リレー」です。事前に企画委員会の子供たちが遊び方の説明を映像で準備し、それを各学級で視聴していたので、スムーズに競技に移ることができました。「二人三脚」は、文字通り、ペアの子供と息を合わせて進み、リレー形式で交代しながら順番に進んで行きますが、1年生と6年生がペアになると、6年生が1年生のことを考えながらリズムを合わせるが必要となってきます。「フラフープおくり」は、みんなで手をつないで円陣を組み、手をつないだままフラフープを一人一人が潜り抜けていき、一周する速さを競い合います。「『の』の字リレー」は、低学年と高学年がペアになり、新聞紙に書かれている「の」の字にマジックで丸を付け、制限時間内に最も「の」の字を見つけた班の勝ちとなります。

どの競技も子供たちがとても意欲的に活動し、声を掛け合ったり応援したりしながら、たてわり班の絆を深めていました。このたてわりイベントパート2は、全て企画委員会の子供たちの運営によって行われ、教師が子供たちに指示することもなく、各班の6年生たちが声を掛け合いながら運営していたところに、帯西の学校文化が紡ぎだされてきたことを実感させられました。

今回のイベントの感想です。企画委員会の子供は「みんなの前で声を出して全体を動かすのは大変だけど、やりがいがあります。」と感想を述べました。また、集会に参加した、子供たちは「『🟢帯西グリーン』の心が伸びました。二人三脚で競技して、もっと仲良くなったからです。」「『🟡帯西イエロー』の心が伸びました。フラフープでは、他の学年と協力して、たてわり班がもっとよくなったからです。」「6年生がもうすぐ卒業だけど、優しくしてくれて『🟢帯西グリーン』の心を感じました。」と述べました。

今日のたてわりイベントは市教委の方も視察に来られていて、「こんなにも子供たちが主体的に動いている学校は、見たことがない。素晴らしい時間を過ごしている。他の学校も帯西のような取り組みをして欲しい。」と絶賛してくださいました。

今回のたてわりイベントも、下級生は個々のよさを、6年生はリーダー性を発揮しながら、みんなで決めた遊びを、みんなで力を合わせて、自主的に活動に取り組んでいく姿がありました。子供の子供による子供たちのための活動ができ、企画委員や最上級生は、全校児童のお手本となり、もっと憧れられる存在となりました。次年度は、この経験を共有した5年生がリーダーとして活躍してくれることでしょう。

